



平成 29 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 進 和  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 根 本 哲 夫  
(コード番号 7607 東証第一部・名証第一部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 吉 田 礎 久  
管 理 本 部 長  
TEL (052) 796-2533

## 「第 2 次中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社は、2017 年 9 月から 2020 年 8 月までの 3 年間を計画期間とする「第 2 次中期経営計画」を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 前中期経営計画の総括

前中期経営計画（2015 年 8 月期～2017 年 8 月期）では、社訓である「三拓の精神」（新商製品の開拓、新規需要家の開拓、新規需要の開拓）に基づくフロンティア・スピリッツに立ち返り、業容の拡大を志向し、強靱な収益力を兼ね備えた強い企業となることを目指して取り組んでまいりました。

当社グループの主要ユーザーである自動車業界は、国内においては、合理化・効率化、省人化に向けた設備投資や次世代自動車の研究開発投資が高い水準で実施されました。また、海外においても、新工場建設や新ライン増設等が実施され、設備投資は堅調に推移しました。

その結果、主に自動車業界を中心に設備投資需要の取り込みが奏功し、売上高、営業利益、ROE については計画を達成できました。一方、海外売上高については、第 1 次中期経営計画スタート前の 2014 年 8 月期比 25 億円増加いたしましたが、計画を下回る結果となりました。

#### ○ 第 1 次中期経営計画目標（連結ベース）達成状況

達成すべき目標	2017 年 8 月期 目標	2017 年 8 月期 実績	達成率
売上高	500 億円	514 億円	102.8%
営業利益	34 億円	36 億円	105.9%
海外売上高	175 億円	139 億円	79.4%
ROE	10%以上	12.3%	—

## 2. 新中期経営計画の概要

前中期経営計画の結果を踏まえ、「第2次中期経営計画（2018年8月期～2020年8月期）」を策定いたしました。

当社は新中期経営計画の最終年度（2020年度）に創業70周年を迎えます。当社グループでは、70周年に向け、次の3ヵ年における経営ビジョンを明確化し、接合技術の中核とした事業を通じて持続的な成長と発展を目指してまいります。

新中期経営計画の概要は次のとおりであります。

### (1) スローガン

**Shinwa moving forward 2020 (Our 70th Anniversary)**

**—持続的な成長とたゆまぬ変革—**

強い現場力を武器に顧客価値創造型企業として「持続的成長」と「たゆまぬ変革」を両輪に、未来に続く会社を目指します。

### (2) 計画期間

2017年9月～2020年8月（3年間）

### (3) 経営ビジョン

- ① ものづくりのスマート化に向けたソリューションの提供
- ② 接合技術を中心としたエンジニアリング部門の拡充による先進技術の取り込み
- ③ グローバル化に対応できる人材の育成

### (4) 重点戦略

上記、経営ビジョンの実現に向けて、部門ごとに以下の項目を重点戦略として取り組んでまいります。

- ① 国内営業部門
  - 営業スタイルの変革＝「売る力」の強化
    - ・ ユーザーに提供する付加価値を最優先に考えるソリューション営業の展開
    - ・ セールスエンジニア（営業技術者）の育成、組織化による技術サポート体制の拡充
  - 次世代自動車マーケットへの取り組み
    - ・ 電動化、自動化、ネットワーク化の分野への取組強化
    - ・ 自動車の軽量化、高強度化ニーズに向けたソリューションの提供
    - ・ 「接合」分野における材料、工法最適化による取扱商品の拡充と新市場の開拓

## ② 海外営業部門

- 販売ネットワークの強化
  - ・ 海外現地法人と連携したコア商品、生産設備の販売体制の強化
  - ・ ローカルサプライヤーおよびユーザーの開拓と関係強化
- 海外におけるインフラの整備
  - ・ 北アメリカ販売網の拡充に向けた新拠点の設立
  - ・ U S A, タイにおけるデモルーム、ショールームの設置

## ③ 製造部門

- 技術の開発、製品力強化
  - <レーザ分野>
    - ・ レーザクラディングシステムでの溶接材の開発、適用範囲の拡大
    - ・ ファイバーレーザにおける異種金属接合・薄板溶接の技術開発
  - <システム・ネットワーク分野>
    - ・ システム、ロボット、製造機器の更新ニーズ発掘と処理能力の向上
    - ・ 製造現場の IoT 化、処理データ膨大化への対応
    - ・ 三次元測定の計測技術強化による受託検査・測定機販売の拡大
  - <軽量化・小型化・高機能化での製品力強化>
    - ・ アルミ接合の技術・工法開発
    - ・ 微小・精密・高速な塗布方法の技術開発
- 社内環境の整備
  - ・ 安全管理の徹底
  - ・ 自社生産設備のモニタリングによる「工場見える化」開始

## ④ 管理部門

- 安全衛生管理体制の強化
  - ・ 施工管理スタッフの増強、営業・技術スタッフのリスクアセスメント教育の充実
- 人材育成
  - ・ 海外研修制度を活用したグローバル人材の育成および現地ローカル社員の本社研修の実施
- 仕事と生活の調和にむけた就労制度、人事制度の整備
  - ・ 多様化する労働形態に対応した人事・労務諸制度の整備
- 内部管理体制の強化
  - ・ 高い倫理観を持つ企業風土の醸成とコンプライアンスの推進
  - ・ リスクマネジメントの体系化によるリスク対応力の強化
  - ・ 海外現地法人の自立化に向けた支援強化

(5) 連結業績目標 (2020年8月期)

達成すべき目標	2017年8月期 実績	2020年8月期 目標	増加率
売上高	514億円	600億円	116.7%
営業利益	36億円	45億円	125.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24億円	30億円	125.0%
海外売上高	139億円	180億円	129.5%
ROE	12.3%	10%以上	—

3. 配当政策

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付け、業績の進展を勘案しながら、継続的かつ安定的な利益還元に努めることを基本方針としています。

具体的には、配当性向30%を目途に、持続的な業績向上を通じた利益配分の増加に努めてまいります。

以上